

地域名	構成市町村等名		計画期間	事業実施期間
西紋別地域	紋別市・滝上町・興部町・西興部村・雄武町・西紋別地 区環境衛生施設組合		平成21年4月14日 ~ 平成26年3月31日	5年間

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成 19 年度)	目標 (割合※1) (平成 26 年度) A	実績 (割合※1) (平成 26 年度) B	実績B /目標A	
排 出 量	事業系 総排出量	3,141 t	2,535 t (-19.3%)	2,271 t (-27.7%)	89.6%
	1 事業所当たりの排出量	1.26t	0.81 t (-35.7%)	0.84t (-33.3%)	103.7%
	家庭系 総排出量	12,139 t	9,986 t (-17.7%)	9,753t (-19.7%)	97.7%
	1 人当たりの排出量	202 kg/人	170 kg/人 (-15.8%)	177 kg/人 (-12.4%)	104.1%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	15,280 t	12,521 t (-18.1%)	12,024 t (-21.3%)	96.0%
再 生 利 用 量	直接資源化量	0 t (0.0%)	0 t (0.0%)	0t (0.0%)	0%
	総資源化量	4,134 t (27.1%)	4,211 t (33.6%)	4,110t (34.2%)	97.6%
熱 回 収 量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
	中間処理による減量化量	793 t (5.2%)	5,660 t (45.2%)	7,451t (62.0%)	131.6%
最 終 処 分 量	埋立最終処分量	10,353 t (67.8%)	2,650 t (21.2%)	2,157t (17.9%)	81.4%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合だ

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 19 年度)	目 標 (平成 26 年度) A	実 績 (平成 26 年度) B	実績B /目標A	
総 人 口	34,210	31,038	31,024	—	
公 共 下 水 道	汚水衛生処理人口	28,953	27,244	26,873	98.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	84.6%	87.8%	86.6%	98.6%
集 落 排 水 施 設 等	汚水衛生処理人口	0	0	0	0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0%	0%	0%	0%
合 併 処 理 浄 化 槽 等	汚水衛生処理人口	498	1,194	687	57.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.5%	3.8%	2.2%	57.9%
未 処 理 人 口	汚水衛生未処理人口	4,759	2,600	3,042	117.0%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、 再使用の 推進に関 するもの	11	家庭ごみ排出抑制の 推進	各市町村	ごみの有料化を実施し、ごみ減 量及び資源化に向けた取り組 み	H21～H26	(紋別市) ・有料化の継続 (H25料金改正) ・H26年度より小型家電の回収 (滝上町) ・有料化の継続 (興部町) ・有料化の継続 (H21料金改正) (雄武町) ・有料化の継続
	12	教育・啓発活動の充 実	各市町村	住民等に対して、ごみの減量化 ・適正な出し方に関する啓発	H21～H26	(全市町村) ・広報誌等によるごみの減量、分 別に関する情報提供 ・ホームページにごみの分別一覧 表掲載 (紋別市・興部町・滝上町) ・ごみの分別一覧表を全戸配布
	13	住民と協力体制の 構築	各市町村	町内会等集団回収の推進及び 拠点回収の推進	H21～H26	(紋別市) ・廃食用油の拠点回収実施 (興部町) ・古着の拠点回収実施 ・環境活動奨励制度
	14	マイバッグ持参運動 の推進	各市町村	レジ袋の削減に向けた運動の 推進	H21～H26	(紋別市) ・事業者とのレジ袋有料化協定の 締結、拡大

処理体制 変更に関するもの	21	分別区分の変更	各市町村	可燃ごみの減量を図るために、プラスチック製容器包装廃棄物、紙製容器包装廃棄物の分別収集。	H21～H26	紋別リサイクルセンターで広域資源化処理を行う
	1	マテリアルリサイクル施設整備	組 合	不燃ごみ、粗大ごみを破碎選別し、金属類・可燃残さ・不燃残さに選別し、金属類はリサイクルすると共に、最終処分量を削減する。	H22～H24	破碎選別施設の整備
	2	エネルギー回収施設整備	組 合	可燃ごみ、可燃残さを焼却し、最終処分量を削減すると共に、熱エネルギーを回収し有効利用する。	H22～H25	熱回収施設の整備
処理施設 の整備に 関するもの	3	最終処分場整備	組 合	破碎選別施設・熱回収施設の処理残さを埋立処分する。	H22～H24	最終処分場の整備
	15	生ごみ減量化・資源化の促進	各市町村	生ごみの分別収集・堆肥化及び処理機等購入に対する補助の利用促進	H21～H26	(興部町・滝上町) ・電動生ごみ処理機、コンポスト購入補助の利用促進(興部町) ・家畜糞尿と合わせたバイオガス化処理(西興部村) ・乾燥して堆肥化の推進(雄武町) ・堆肥化処理の推進

施設整備に係る計画支援に関するもの	4	合併浄化槽整備	各市町村	下水道が整備されていない人口散在地域等で合併浄化槽の整備を進めていく。	紋別市H18～H26 滝上町H13～H26 雄武町H24～H26	(紋別市・滝上町・雄武町) 合併浄化槽設置推進に伴う設置費用の一部補助
	31	1、2、3の計画支援	組 合	ごみ処理施設の整備に際し、生活環境影響調査・地質調査・測量調査・基本設計・実施設計等を行う。	H21～H22	生活環境影響調査・地質調査・測量調査・基本設計・実施設計等の実施
	41	行政による減量化・資源化・グリーン購入等の促進	各市町村	行政による減量化・資源化、グリーン購入等の対策。	H21～H26	・事務用品・コピー用紙は再生品 ・庁舎内での古紙等資源回収
その他	42	不法投棄対策	各市町村	不法投棄パトロール	H21～H26	警察機関や地域住民と連携を図って監視体制を強化する。
	43	災害時の廃棄物処理に関する事項	各市町村・組合	周辺地域の自治体との連携体制の構築を図り、円滑かつ適正に処理できる体制の整備を強化していく。	H21～H26	体制整備の強化に努める。

3 目標の達成状況に関する評価

(ごみ処理)

1. 排出量
目標に対する実績は事業系、家庭系共に減少しており、目標を達成することができた。今後についても、生ごみの有効利用等を継続し減量化に努める。
2. 再生利用量
目標に対する実績は98%で概ね達成と考えるが、今後の取り組みとして再生利用の促進により、資源化の向上に努める。
3. 減量化量
目標に対する実績は132%で減量化目標を達成した。
4. 最終処分量
目標に対する実績は81%で目標を達成でき、今後も減量化に努力し最終処分場の延命化につなげたい。

(生活排水処理)

生活排水処理については、合併浄化槽の整備を推進しており、浄化槽は年々増える傾向にはあるが、核家族化により使用人数が増えない、又高齢化等により浄化槽整備希望者が予想以上になかった事により、目標に達しませんでした。しかし、平成19年度と比較すると、汚水衛生処理人口は確実に増加していると考えます。今後も合併浄化槽の設置補助や公共下水道への早期接続への啓発を広報誌等で、継続して行い汚水衛生処理人口の向上を図る。

(都道府県知事の見解)